

■オーストラリア：州政府、FIT 価格引き下げを撤回

現地メディアは 2013 年 8 月 14 日、西オーストラリア州政府は太陽光発電固定価格買取（FIT）制度における買い取り額の引き下げ案を撤回したと報じた。FIT 制度は 2009 年に導入され、現時点で 7 万 5,000 世帯と契約が締結されている。当初計画より 4,600 万豪ドル（40 億円）の追加費用が発生していることなどを受け、同州財務省による 2013 年度予算案では、一般世帯が太陽光パネル設置した場合の余剰電力の買取価格を、これまでの 1kWh 当たり 0.4 豪ドル（36 円）から 0.2 豪ドル（18 円）に引き下げるとされていた。10 年間の余剰電力売却の契約を結んでいる住宅所有者らは訴訟する考えを表明、与党からも反対の声が上がったことから、バーネット同州首相は 8 月 11 日に撤回を発表した。